

#### 4. 補足情報

##### (1) 主な製品の売上高と予想

(単位：億円)

製品名	累計実績				前年同期比		通期目標	
	4～6月	7～9月	10～12月		増減額	増減率	金額	増減率
グラクティブ錠	86	83	98	268	+59	+28.5%	<b>350</b>	+25.6%
オパルモン錠	91	83	94	268	△44	△14.0%	<b>335</b>	△15.2%
オノンカプセル	42	30	41	113	△26	△18.9%	<b>165</b>	△13.7%
キネダック錠	25	21	23	70	△20	△22.5%	<b>90</b>	△19.7%
フオイパン錠	24	21	24	70	△11	△13.7%	<b>85</b>	△16.4%
リカルボン錠	16	17	24	57	+33	+138.1%	<b>80</b>	+127.5%
イメンド/プロイメンド	20	19	22	62	+11	+21.9%	<b>75</b>	+11.7%
オノンドライシロップ	18	13	24	55	△3	△5.1%	<b>75</b>	△1.4%
ステーブラ錠	18	15	17	50	+4	+7.8%	<b>70</b>	+14.3%
注射用エラスポール	10	9	12	31	△3	△8.3%	<b>40</b>	△8.1%
リバスタッチパッチ	6	11	12	29	+20	+242.9%	<b>38</b>	+208.6%
注射用オノアクト	9	9	12	30	+3	+9.6%	<b>36</b>	+7.8%

(注) 仕切価格（出荷価格）ベースでの売上高を開示しております。

## (2) 四半期連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	113	56	△58
うち減価償却費	22	21	△1
投資活動によるキャッシュフロー	138	153	+15
財務活動によるキャッシュフロー	△186	△183	+2
キャッシュの増減額	65	25	△40
四半期末のキャッシュの残高	891	876	—

営業活動により獲得したキャッシュ・フローは、56億円の収入（前年同期比58億円収入の減少）となりました。法人税等の支払額151億円、売上債権の増加額76億円などのキャッシュの減少要因があった一方で、税金等調整前四半期純利益316億円などのキャッシュの増加要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、153億円の収入（前年同期比15億円収入の増加）となりました。主な内訳としては、有形固定資産の取得による支出が26億円あった一方で、有価証券及び投資有価証券の取得と償還などで差し引き181億円の収入がありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、183億円の支出（前年同期比2億円支出の減少）となりました。これは、主に配当金の支払によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前連結会計年度末に比べて25億円増加し、876億円となりました。

(3) 海外売上高

(単位：億円)

	前第3四半期	当第3四半期
輸出高	22	20
海外特許料収入	15	0
合計	37	20
(対売上高比率)	3.3%	1.8%

主要輸出先

韓国、イタリア、ドイツ、台湾、オランダなど

主要輸出品目

オパールモン、プロスタンディン、オノン、プレグランディン、エフオーワイ、フオイパンなど